

14人の議員が35項目の質問を行い、
町長の考えをいただきました。

佐中 十九昭 議員
町長の責務と責任

Q 町は議会との関係を改善せよ

A 町民の目線にたって議員のご理解を得る

質問(議員) 庁舎の建設問題や保育所建設などで議会と対立している。町民にとってこれ以上の対立は信頼不安につながる。今、町民は長引く景気の悪化などで生活不安である。町民の暮らしを守ることを最重点に行うことが町の役割であるかどうか。

答弁(町長) 庁舎移転は、連続立体交差事業の見直しの有無に関わらず、早期決着に向けて最善を尽くす。

Q 町の課題をどう考えるか

A 検討・要望する

質問(議員) 町が今解決しなければならぬことについてどう考えるか。

答弁(町長) 畝保育所の再整備は検討中。東広バイパスの早期開通は再度建設促進を要望する。尾崎川の水位増等は、広島県と連携しポンプの増設等再要望する。国民健康保険税の減税は考えていない。(写真) また、議会との関係は、町民の目線に立って議員の理解を得ながら、町政運営を進める。

●今町が一番しなければならないことについて

その他の質問

国民健康保険	有効期限	平成 24 年 9 月 30 日
被保険者証	保険種別	国保 退本 退扶
記 号 番 号	世帯主	
氏 名	性 別	男・森
生 年 月 日	昭和	年 月 日
資格取得(該当)年月日	平成18	年 7 月 1 日
交 付 年 月 日	平成23	年 10 月 1 日
住 所	広島県安芸郡海田町	
保険者番号	340166	
保険者名	海 田 町	

国保税の減税を



道路の整備を待つ

西田 祐三 議員
道路整備

Q 電動車いすに対応を

A 計画を示す

質問(議員) 最近では、電動車いすの利用が増え交通事故の引き金になっている。事故防止とともに利便性に配慮した生活道路の整備計画を示せ。(イラスト)

答弁(建設課長) 今後も電動車いすの利用者が増加することが予測できることから、車道歩道分離やバリアフリーなど事故や利用を考えた総合的な道路整備計画を平成二十四年度中に作成する。

Q 電気消費量の削減を

A 広島県のエコ事業に申請する

質問(議員) 学校などに電気消費量の「見える化」を導入し、エネルギー消費の削減に取り組んではどうか。

答弁(学校教育課長) 広島県の平成二十四年度スクールエコ事業に申請し、児童などに対しエコ教育の実施で意識高揚を図るとともに、きめ細かな節電に努め電気消費量の削減を図る。



あぶないでしょ

多田 雄一 議員
子どもの安全

Q 通学路の交通対策を急げ

A できることから実施

質問(議員) 京都の亀岡での事故をはじめ、各地で子どもが登校中に犠牲となる痛ましい事故が起きてしまった。通学路の再点検と危険箇所の改善を急ぐべきだと考えるがどうか。

答弁(教育長) 各小学校において、通学路安全マップを基に子どもたちに安全指導を行っている。危険箇所については、関係機関と連携して、早急に改善できるよう検討する。

Q 畝保育所はふるさと館用地以外に

A 現在のところ考えていない

質問(議員) ふるさと館用地への建設は、議会の状況を考えると困難である。他の候補地を探すべきと考えるがどうか。また建設まで近隣に駐車場を借り、交通問題を解消すべきではないか。

答弁(町長) 他の用地については考えていないが、駐車場問題と共に保護者会と十分に話し合いをして検討する。

住吉 秀公 議員
通学路の安全確保

Q ガードレールの設置を

A 適切な対応策を検討

質問(議員) 全国各地で、登校中の児童が交通事故に巻き込まれている。通学路でガードレール設置可能な場所は、早急に全て設置してはどうか。

答弁(町長) 早い時期に、教育委員会及び海田警察署と共に現状把握を行った上で、道路状況に応じ、ガードレールに限らず適切な対応策を検討する。

質問(議員) 歩道又はガードレール設置困難な通学路、及び抜け道として利用されている通学路に、カラー舗装をするなど運転手に注意を促す手立てを

講じてはどうか。

答弁(町長) あんしん歩行エリアの実績を踏まえ、さまざまな整備手法について、今後検討する。

質問(議員) 地域住民の理解が得られる通学路は、スクールゾーンにするなど、何らかの交通規制を行ってはどうか。

答弁(教育長) スクールゾーン等の交通規制について、交通事情や迂回路の有無などを勘案しながら、関係機関と更に連携する。

●定住促進策について
●防災行政無線について

その他の質問



子どもの安全は大人の責任です



町内を走ってPRします

渡辺 善隆 議員
公用車の利活用

Q 有料広告の掲載を
A 実施できるものがあれば取り組む

質問（議員） 自主財源の確保を図るため、広告掲載の企業を募集して、公用車に有料広告を掲載してはどうか。（写真）

答弁（町長） 広報広告やバナー広告の掲載事業などで、一定の成果を挙げている。しかし景気の低迷が続く中で、広告主を見つけることが困難である。先進地事例の研究や広告主のニーズを把握し、実施できるものがあれば取り組む。

その他の質問

●介護ボランティアポイント制度の導入について

下岡 憲国 議員
行政改革

Q 後退は職務の怠慢ではないか
A 不透明な状況下 長期計画は困難

質問（議員） 町は現在、行政改革大綱・実施計画に基づき、約百二十事業を対象に改革を推進中である。来年度からは単なる行革指針へ変え、対象事業数も約二十へと縮小する方針を示した。

答弁（町長） 最新の財政収支見通しによれば、今後五年間の財源不足は二十二億円に及び、財政悪化は必至だ。国も身を切る行革を行なうとしており、当町も従来にもまして強力な行政改革に取り組みべきであり、後退は許されない。見解を問う。

質問（議員） 町の政策の方向性が示されない不透明な状況下、従来通りの長期の目標設定は困難である。毎年見直しを行いながら、町の実情にあった行政改革を実行していく。決して行政改革を後退させるものではない。

その他の質問

●中学生の問題行動について



「本気で取り組み！行政改革」



福祉施設の充実を

兼山 益大 議員
ノーマライゼーション

Q 磁気誘導ループの導入を
A 大切なことと考えている

質問（議員） 難聴者にとって雑音の多い場所や人の集まる場所では、音声を正確に聴き取ることが困難である。公共施設等への磁気誘導ループ導入の見解を問う。（写真）

答弁（町長） ノーマライゼーションの理念のもと、誰もが安心して快適に公共施設等を利用できるようにすることは、大切なことと考えている。導入については、施設の改修が必要なものや、携帯用のものもあり、他の事例を参考にしながら調査研究していく。

Q ごみの減量対策を
A 大きな行政課題として認識

質問（議員） ダンボールコンポストのモニター募集、容器や備品等の購入費助成を研究してはどうか。

答弁（町長） 今後、コンポストを含め、他の自治体の制度を調査研究したい。

※磁気誘導ループ…補聴器を補助する放送設備のこと。磁気ループが発生する磁気を補聴器が受信し、音声信号に変えることで雑音の少ないクリアな音声を聴くことができる。

桑原 公治 議員
児童クラブ

Q 町外に通学する児童の受け入れを
A 基準を満たせば受け入れる

質問（議員） 児童クラブは、放課後、家に保護者がいない小学校一から三年生までの児童が利用できるが、町内在住の児童が町外の小学校に通う場合は入会することができないと聞いている。このような制限をなくしてほしいと保護者から要望があるが、改善することはできないか。

答弁（町長） 児童クラブは、原則町内の小学校に通学する児童を受け入れているが、町外に通学する児童も一定の基準を満たせば受け入れができるものと考えている。

Q 水中運動教室の回数減の解消を
A 前年度と同様とはいかないが検討する

質問（議員） 福祉センタープールで行われている水中運動教室は、前年度二十回実施したのに対し、今年度は十回に減っている。前年度並みの回数にできないか。（写真）

答弁（町長） 介護保険料の上昇を抑制したいという観点から回数を減じた。前年度と同様とはいかないが、介護保険料の執行状況を踏まえ、検討する。



回数を増やしてね



お願い、お持ち帰りにして！

大江 康子 議員 美しいまちづくり条例

Q 戸外でのゴミかごの撤去について

A 順次撤去することとしている

【質問（議員）】公園などに設置している花見時のゴミかごは、家庭ごみや弁当のゴミなどで溢れている。美しいまちづくりのために、室内と同様自分の出したごみは持ち帰ってもらうように、かごの撤去をしてはどうか。

【答弁（町長）】花見の時期においては、各自持ち帰るよう張り紙をしたにもかかわらず改善されていない。町としてゴミは各自で持ち帰ることを原則としており、ゴミかごは順次撤去する事としている。

【質問（議員）】海田町美しいまちづくり条例の周知が十分ではないか。

【答弁（町長）】広報やホームページなどで、今後とも、引き続き周知に努める。

【A 関係機関と連携し、点検する】
【質問（議員）】学校・道路管理者・警察の三者で通学路の危険箇所を洗い出し安全対策を八月までに国に報告と聞いているがどうか。

【答弁（学校教育課長）】現時点では国より未だ通達はきていない。海田小学校をモデルとして通学路の点検を行う予定である。

岡田 良訓 議員 住宅リフォーム

A 二十三件・要望があれば検討する

【質問（議員）】現在の利用状況と個人所有のマンションなどの内装工事など希望する人が利用しやすいよう条件を緩和すべきではないか。（写真）

【答弁（町長）】制度の利用状況は、五月末現在で二十三件の補助申請。厳しい補助条件は設けていないが見直しについて具体的な要望があれば検討する。

Q 利用状況と補助条件の緩和を

【A 細部を協議中】

【質問（議員）】災害時に避難場所の見直しをするということで、高いビルや民間の商業施設も緊急避難場所として要請されているが、進捗状況はどうか。

【答弁（副町長）】現在、町内の大型商業施設と災害時応援協定の締結について、細部の協議を行なっている。海抜表示は防災計画の見直しの中で検討していく。



マンションにも適用を



交互通行が難しい畝橋

崎本 広美 議員 道路整備計画

Q 新畝橋を A 広島県と協議する

【質問（議員）】都市整備計画の見直しによる新畝橋の建設を

【答弁（町長）】都市計画道路森畑西谷線の国道二号から町道二号線（瀬野川に架ける）新橋の計画は存続を決定している。今後の整備計画は、広島県と協議する。（写真）

【A 定期的に点検する】
【質問（議員）】今年、他市で公園の遊具による事故が起きている。過去に本町でも事故が発生し、安全対策として毎月点検するところがあるが実態はどうか。

【答弁（町長）】公園遊具などの点検は、毎月できないのが現状だが、今後は定期的に実施する。

西山 勝子 議員 保健事業の充実

Q 予防接種・がん検診の充実を A 予算処置を踏まえ検討する

【質問（議員）】子宮頸がん、小児用肺炎球菌、ヒブワクチン接種は、平成二十五年より定期接種の対象になる検討がなされている。世界保健機構では水痘、おたふくかぜなども定期接種を推奨している。おたふくかぜ、水痘の予防接種を公費助成の対象に、また、胃がん検診にピロリ菌検査をそれぞれ追加する考えはないか。

【答弁（保健センター所長）】合併症が起る感染症に対して、予算処置も含め検討する。

また、胃がん検診の際に公費負担は考えていないが、ピロリ菌検査を実施できないか検討する。

【Q 町営住宅の入居優遇について】

【A 子育て施策として検討】

【質問（議員）】入居者の抽選において、新婚世帯等にも優遇をしてはどうか。

【答弁（町長）】若年層人口増のための有効な手段として検討する。

- その他の質問
- 海田町が整備する全ての建築物について
 - 災害に強い街へ
 - 町のリーフレット等の情報発信について



すくすくと大樹に



休館にした責任は

前田 勝男 議員
ふるさと館の休館

Q 条例違反であり町政の失態である
A 町民に迷惑をかけたが違反とは思わない

質問(議員) 四月一日から十九日間もふるさと館を休館したことは、ふるさと館設置及び管理条例に違反しており町政の大失態である。

答弁(教育長) 臨時休館は、町行政全体の流れの中で生じた事案である。広報などに一部不徹底があり、町民の皆様にご迷惑をかけた。

質問(議員) 臨時休館に対し、町長は、行政の最高責任者として、どう考えるか。

答弁(町長) ふるさと館の休館は、住民の要望や議会における請願の採択を受けて計画した畝保育所の建替えのために発生したもので、やむを得ないと判断した。

休館にあたっては、教育委員会の対応についても周知方法に課題をのこしたものの、その対応に法令違反がなかったと認識している。

その他の質問

- 街路灯について
- 公の施設の放射性物質について
- 庁舎問題について

宗像 啓之 議員
広島市東部地区連続立体交差事業

Q 見直しに関する情報は

A 何もない

質問(議員) 広島県・広島市が見直しの検討をしているが、どのようになっているのか。

答弁(町長) 現時点では「実現可能な見直し案の作成を行う予定」だけである。引き続き情報収集に努める。

質問(議員) 高架化が府中町域のみで終わり海田町域が行われないのではないか。

答弁(副町長) その可能性はある。

Q 千葉邸の位置づけは

A 検討していく

質問(議員) 寄付を受けて一年近くが経つが、普通財産のままで明確な活用方法が示されていない。早く行政財産として位置づけ、明文化すべきであるが。(写真)

答弁(教育長) 明文化の手法等も含め、関係部署と協議しながら検討する。

質問(議員) 既に限定的ではあるが公開を行っており、いつまでに整理をするのか。

答弁(教育長) 早い時期に整理する。



いつでも 誰にでも 公開を